

PDCAチェックシート

実施年度	令和5年度		担当課名	教育総務課
事務事業名	ICT教育推進事業			
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
■目的 国の「GIGAスクール構想」を受け、市内小中学校に整備した1人1台タブレット端末等のICT環境を、学習活動において効果的に活用することを目的とする。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ○授業でのタブレット使用率 使用率 100% 【達成値(R5実績値)】 ○授業でのタブレット使用率 使用率 100%	■具体的取組 ○教職員によるICT活用研修会 市内小中学校のICT担当者と市担当者として、各学校の取組や課題等を話し合うとともに、取組等で効果的な事例を各校に報告し、教職員の資質向上に役立てた。 児童生徒が使用しているタブレット端末について家庭への持ち帰りルールを策定し、運用体制を整える。日常の活用が滞りなく行えるようにICT支援員を配置した。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ○ICT支援員 報酬等 2,805千円 ○学習支援システム使用料 使用料及び賃借料 3,568千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○教職員によるICT活用研修会 3回 第1回 令和5年6月20日(火) 第2回 令和6年1月29日(月) 第3回 令和6年3月4日(月) ○授業でのタブレット端末使用割合 小学校 18／18クラス(6学年×3校) 中学校 9／9クラス(3学年×3校)	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) ○教職員研修会の実施 教職員研修を、オンライン形式を中心に、年間3回実施した。研修については、タブレット導入後も計画的に実施しており、導入後に発生した課題や国や県の方針を受けた取組についても話し合うことで、各校において、実状に応じて効果的な取組を行うことができた。 ○学習活動におけるICT機器の活用 タブレット端末、学習・授業支援ソフト等を活用した授業改善、児童生徒の自主的な学習への活用に継続して取り組む。 ○児童生徒がタブレット端末とネットワーク接続用Wi-Fiルータを各家庭に持ち帰るルールを策定し、スムーズな運用ができた。 ○引き続きICT支援員を配置したことで、各校において日常のICT教育が滞りなく行えるようになった。 ○タブレット端末の使用状況は、全校全年で使用されており、今後も有効活用を継続する。	■検証結果を受けての具体的対応 ○ICT支援員の活用 ICT機器の操作指導及び授業での効果的な活用方法の提案等を目的にICT支援員を増員し、各校1名の配置を目指す。 ○多様なタブレット端末の活用 タブレットの活用に学校間で格差がないよう、引き続き通信環境の改善を行うとともに、授業だけでなく、学校生活全体の様々な場面でタブレット端末を活用する。 ○教職員研修会の実施 学校現場との共通理解を深めるため、teams等を利用したオンライン実務研修会を行う。 ○ICT機器の効果的な活用 一人一人の個別最適な学びの実現に向けて、継続してタブレット端末やAIドリルの活用を推進する。学習者用デジタル教科書について、教員の研修及び有効な活用方法の研究を提案・指導していく。 また、小中学校の各教室に電子黒板と実物投影機を導入し、タブレットと連携させることで、デジタル教科書などを用いた双方向型の授業の実施を目指す。	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。